

2 質問紙調査の結果から

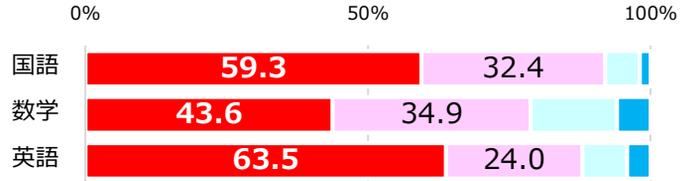
(1) 学習に対する興味・関心や授業の理解度等に関する状況

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

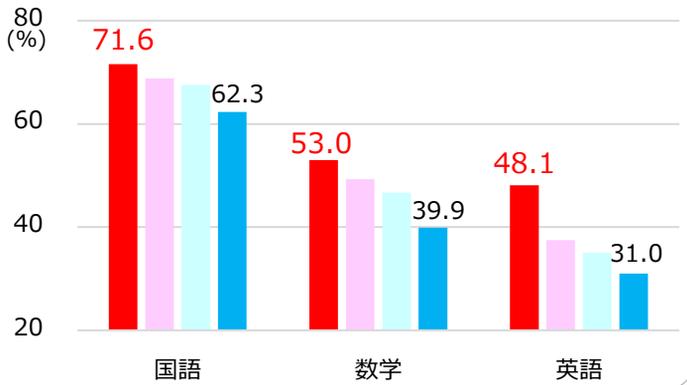
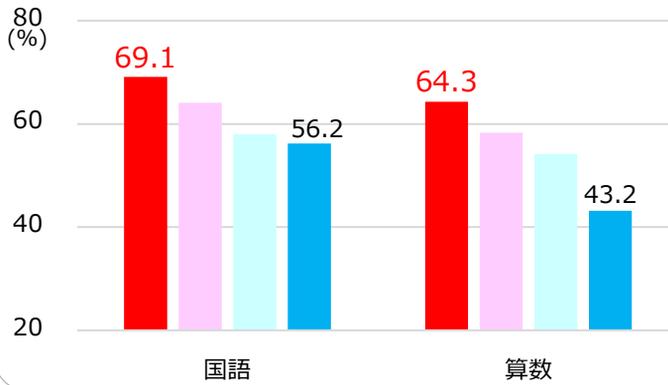
小学校

中学校

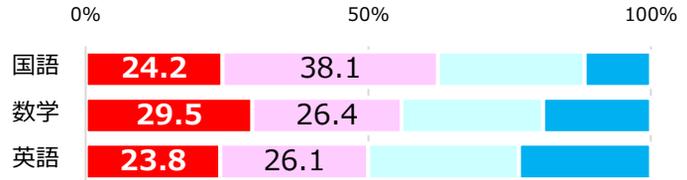
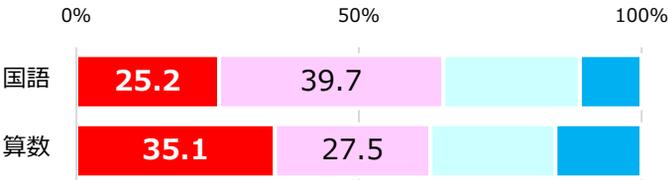
【児童生徒質問紙】 教科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



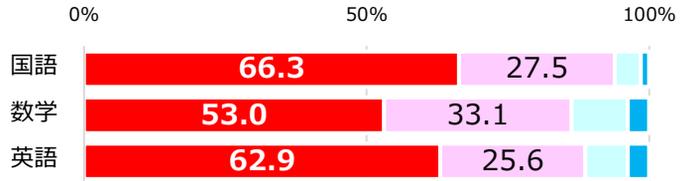
【選択肢ごとの平均正答率】



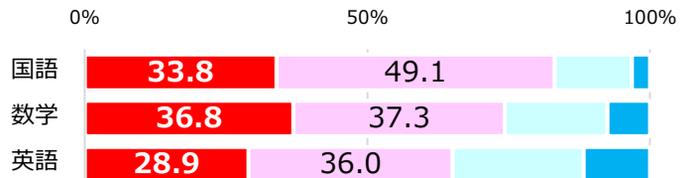
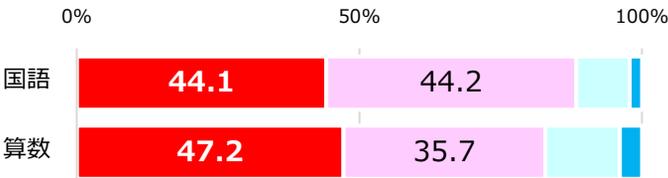
【児童生徒質問紙】 教科の勉強は好きですか



【児童生徒質問紙】 教科の勉強は大切だと思いますか



【児童生徒質問紙】 教科の授業の内容はよくわかりますか



児童生徒質問紙「教科（国語、算数・数学、英語）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問に対する【選択肢ごとの平均正答率】の結果から、「当てはまる」と回答した児童生徒は、どの教科においても平均正答率が高いことがわかります。

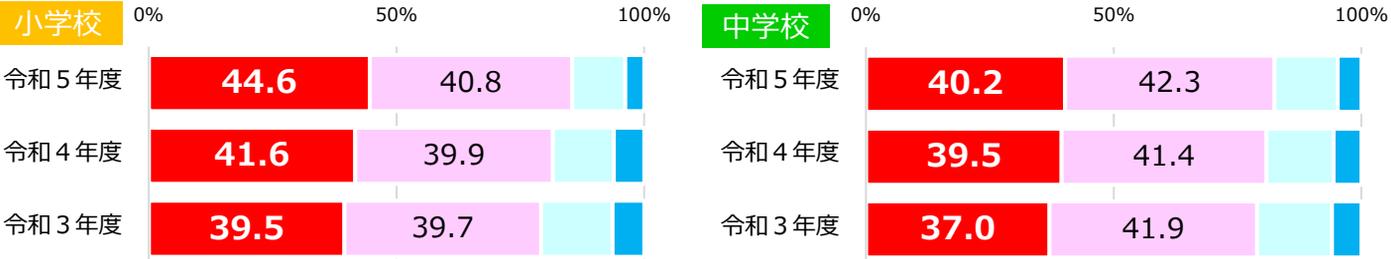
また、「勉強は好き」「勉強は大切」「授業の内容はよく分かる」のそれぞれの質問項目についても、「当てはまる」と回答した児童生徒は、どの教科においても平均正答率が高い傾向が見られました。



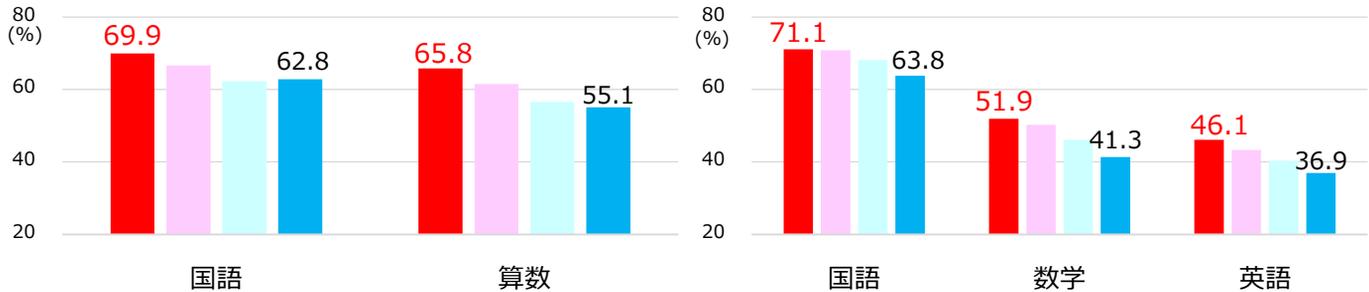
(2) 児童生徒の挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等に関する状況

【児童生徒質問紙】 自分には、よいところがあると思いますか

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



【選択肢ごとの平均正答率】

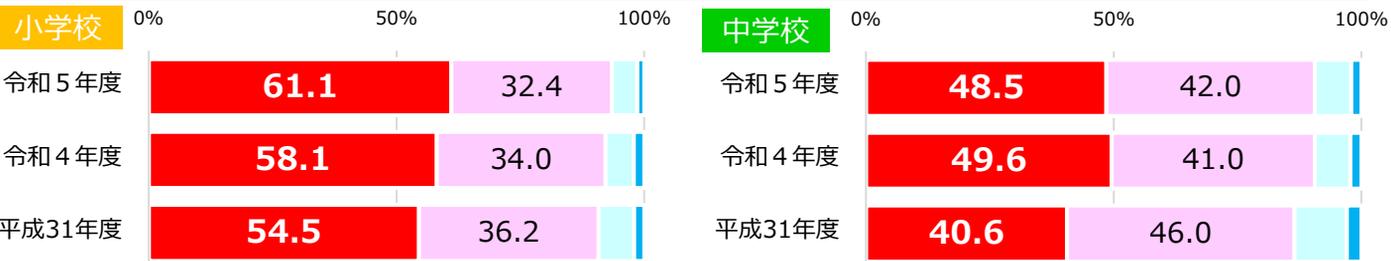


児童生徒質問紙「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校とも令和3年度から高くなっています。

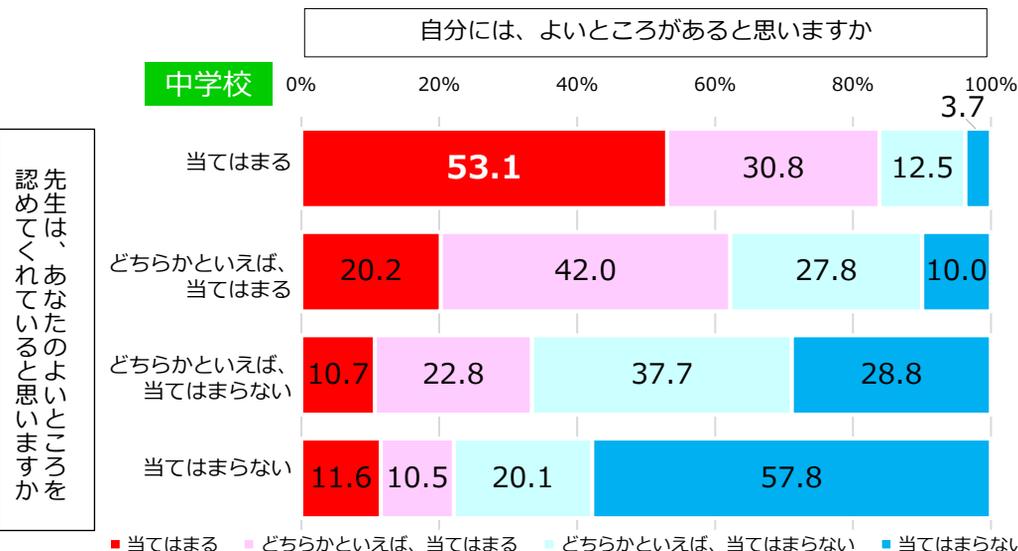
また、【選択肢ごとの平均正答率】の結果から、どの教科においても「当てはまる」と回答した児童生徒の方が、「当てはまらない」と回答した児童生徒より平均正答率が高いことが分かります。



【児童生徒質問紙】 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



[先生がよいところを認めてくれる] × [自分には、よいところがある]



このグラフから、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に対して「当てはまる」と回答した中の53.1%の生徒が、「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対しても「当てはまる」と回答していることが分かります。

このことから、「先生から認められていると感じている生徒」ほど、自分のよさに気付いている傾向があることが推測されます。

これは中学校3年生を対象にした分析結果ですが、小学校6年生の結果も、同様の傾向が見られました。

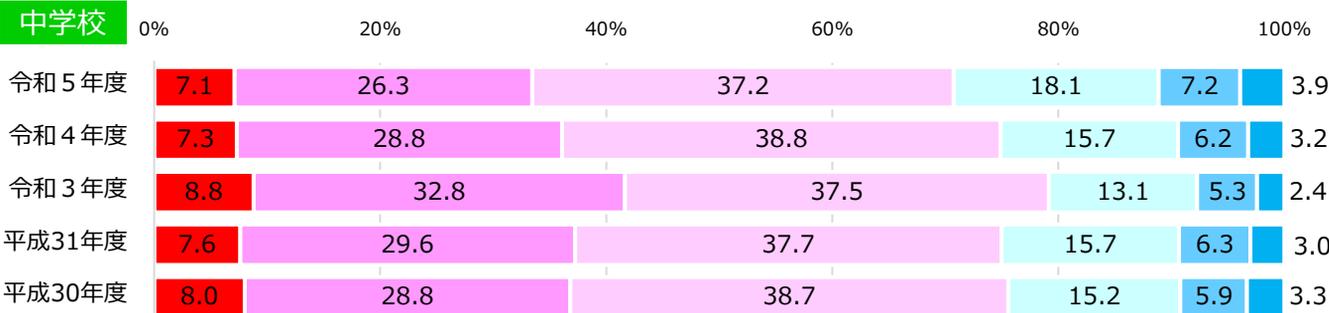
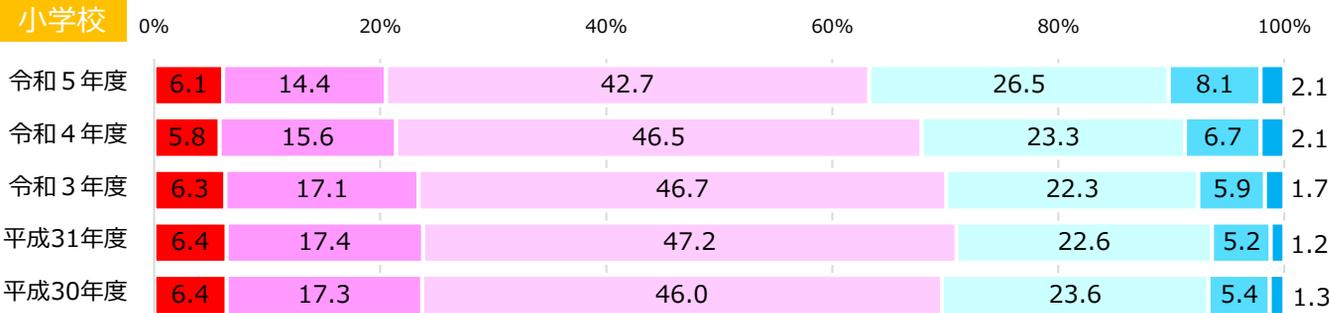
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

(3) 学習習慣、学習環境等に関する状況

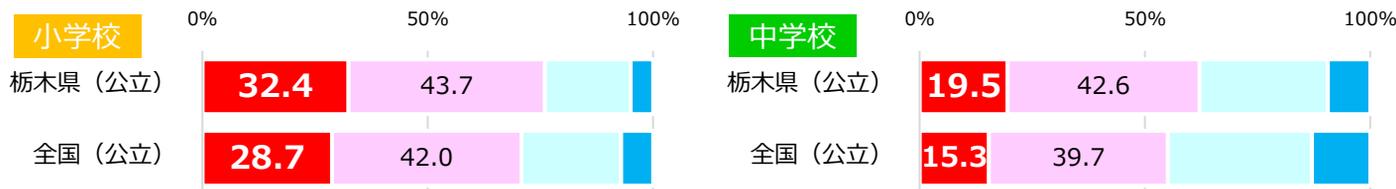
【児童生徒質問紙】 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

■ 3時間以上
■ 2時間以上、3時間より少ない
■ 1時間以上、2時間より少ない
■ 30分以上、1時間より少ない
■ 30分より少ない
■ 全くしない



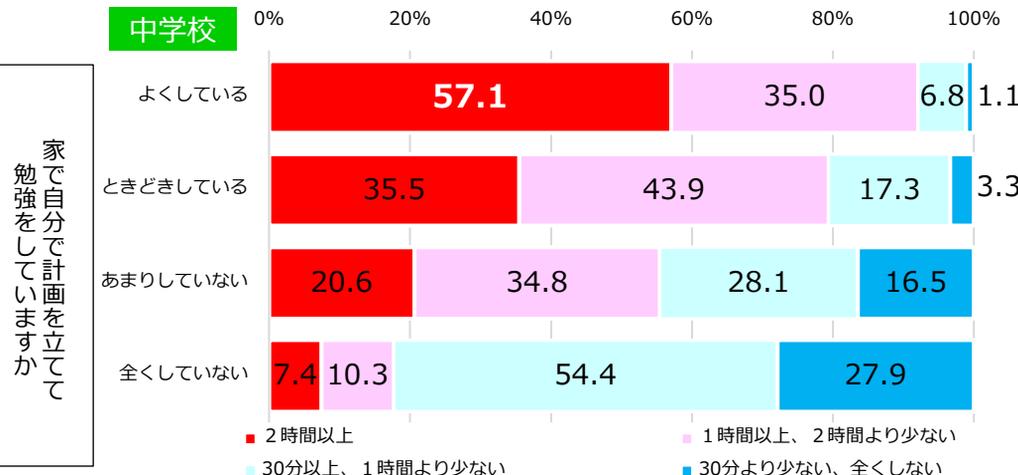
このグラフから、「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」と回答した児童生徒の合計の割合は、小・中学校とともに、令和3年度以降低くなっていることがわかります。

【児童生徒質問紙】 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）



[家で計画を立てて勉強している] × [普段の日の勉強時間]

学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



このグラフから、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の質問に対して「よくしている」と回答した中の57.1%の生徒が、「2時間以上勉強している」と回答していることがわかります。

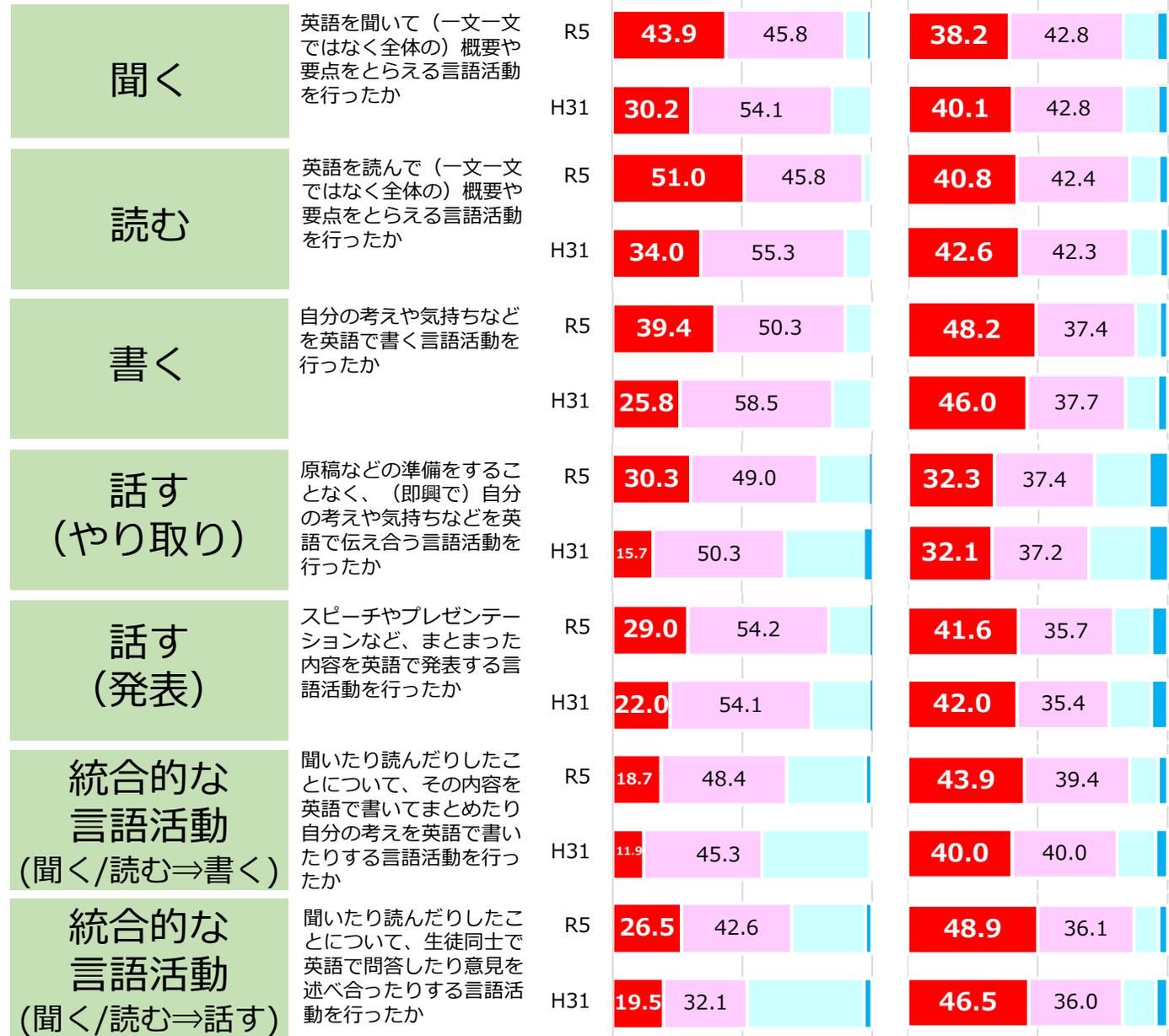
このことから、「家で自分で計画を立てて勉強している生徒」ほど、勉強時間を確保できている傾向があることが推測されます。

これは中学校3年生を対象にした分析結果ですが、小学校6年生の結果も、同様の傾向が見られました。

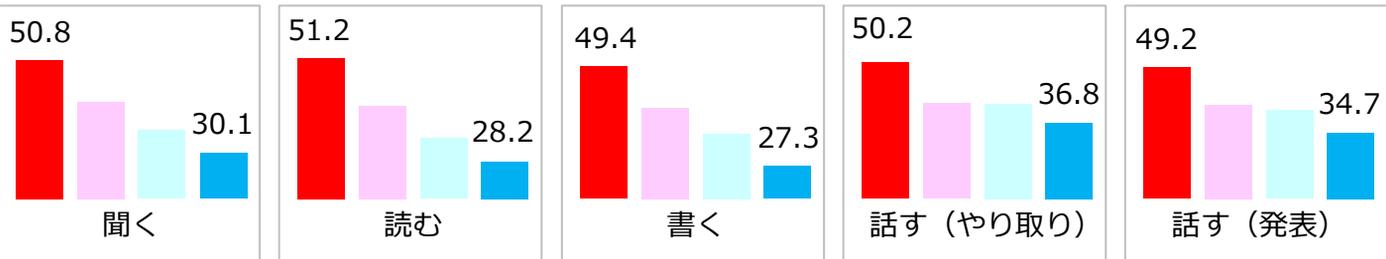
(4) 英語の授業における言語活動等の取組状況

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■当てはまらない ■当てはまらない

平成31年度以来、2回目の調査が行われた英語調査について、学校質問紙調査と生徒質問紙調査の回答結果を比較してみましょう。



【生徒質問紙調査における選択肢ごとの平均正答率（英語）】



今年度の「学校の指導状況」の結果を見ると、平成31年度に比べ、いずれの質問に対しても「はい」と回答した割合が高くなっていることから、授業改善が図られてきていることがわかります。

一方、「生徒の受け止め」に目を向けると、前回と今回の結果に大きな変化が見られない質問項目もあります。また、【選択肢ごとの平均正答率】を見ると、質問に対して肯定的に回答している、つまり、授業において言語活動を行っていると認識している生徒ほど、どの領域においても平均正答率が高いことがわかります。

これらの結果から、言語活動を行う際には、「なぜ、この活動を行うのか」「この活動を通して、どのような力が身に付けばよいのか」等、活動を行う目的やねらいを生徒と共有することが大切であると考えられます。



(5) 個別最適な学び（個に応じた指導）・協働的な学びに関する状況

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行わなかった ■ 全く行わなかった

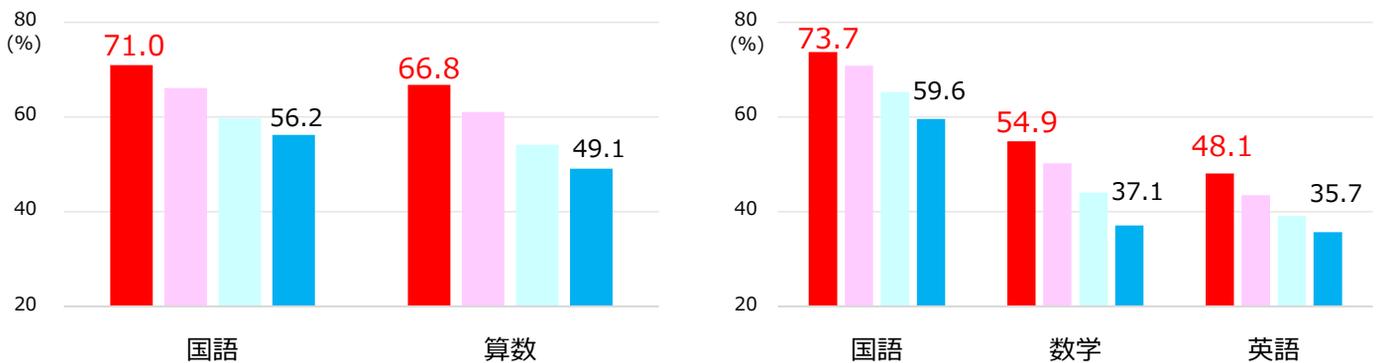
【学校質問紙】 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか（新規）



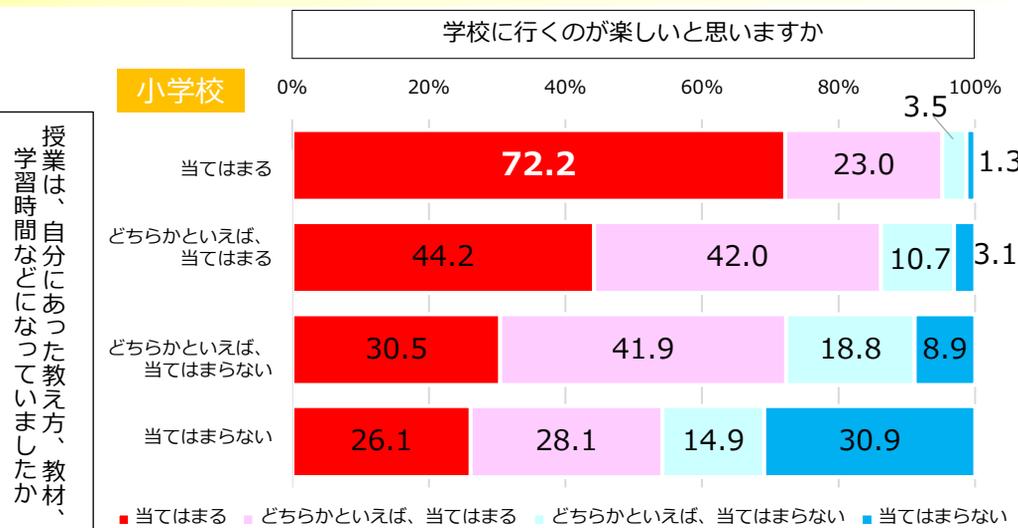
【児童生徒質問紙】 小学校5年生まで〔中学校1、2年生のとき〕に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



【選択肢ごとの平均正答率】



【自分にあった授業】 × 【学校に行くのが楽しい】



このグラフから、「自分にあつた授業」の質問に対して「当てはまる」と回答した中の72.2%の児童が、「学校に行くのが楽しいと思いますか」の質問に対して「当てはまる」と回答していることが分かります。

このことから、「教え方や教材、学習時間など、授業が自分にあつていると感じている児童」ほど、学校生活も楽しいと感じている傾向があることが推測されます。

これは小学校6年生を対象にした分析結果ですが、中学校3年生の結果も、同様の傾向が見られました。

全国学力・学習状況調査の「教科に関する調査結果」と「質問紙調査結果」を踏まえ、児童生徒一人一人の学力向上のために学習指導の改善・充実を図っていきましょう。

栃木県教育委員会事務局 義務教育課 学力向上推進担当

〒320-8501 宇都宮市埜田1丁目1番20号 TEL: 028-623-3367 FAX: 028-623-3399